

◎保健福祉政策の経費

啓発事業

福祉政策課

【総合計画上の位置づけ】

計画の推進  
地域福祉の推進

【事業の目的】

対象 市民等

意図 健やかで心豊かに暮らせるまちづくりに向け、新たなコミュニティや仕組みづくりを進めるため。

効果 地域福祉の推進

【事業の内容】

(1) 啓発事業

- ・ 高齢者保健福祉計画の改定を行った。
- ・ 福祉有償運送事務を行った。
- ・ 「支え合う地域づくりプロジェクトチーム」を運営し、新たなコミュニティや仕組みづくりを検討した。
- ・ 支え合う地域づくりプロジェクトチームでの検討を踏まえ、地域でのヒアリングを実施した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

地域福祉の推進(7-3-1-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,064	2,064	1,366		698

主な支出内訳

・ 啓発事業

高齢者保健福祉計画等推進委員会委員報償費	700
地域福祉懇談会協力謝礼	0
支え合う地域づくりプロジェクトチーム報償費	196
地域ヒアリング委員等報償費	0
高齢者保健福祉計画印刷製本費	450

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-05 啓発事業 □支援部門						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	0014 啓発事業					
		1190 啓発事業					
主管課	福祉政策課	関連課					
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	地域福祉が推進されるよう支援していく。						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
運営資源 状 況	決算値	1,366千円	726千円	40千円			
	(国・県)	0千円	0千円	0千円			
	(負担金等)	0千円	0千円	0千円			
	(一般財源)	1,366千円	726千円	40千円			
	人員配置数	0.5人	0.7人	1.1人			
	人件費	4,597千円	6,444千円	10,041千円			
協働の パートナー	無	無	無				
事務事業 運営経費	総事業費	5,963千円	7,170千円	10,081千円			
	市民1人当 りの経費	34円	41円	58円			
	対象者1人 当りの経費						
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※		
						※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)	
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度( 年度)
支え合う地域づくりプロ ジェクト会議の開催	○	目 標 値					
		実 績 値					
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度( 年度)
		目 標 値					
		実 績 値					
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度( 年度)
		目 標 値					
		実 績 値					
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度( 年度)
		目 標 値					
		実 績 値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 平成21年度からの「地域福祉支援室」の設置に向けて、プロジェクトチームの検討結果をまとめるに当たり、より一層のスピード化が要求された。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) プロジェクトチームでの検討結果をもとに、鎌倉市と鎌倉市社会福祉協議会との協働事業として、専任の地域福祉コーディネーターを配置した「地域福祉支援室」を設置するための準備ができた。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) なし
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 今後は、地域福祉支援室の活動を発展・充実させるために、地域情報の収集、課題の整理等に努め、地域住民の取組みを支援していく。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 無
	地域福祉支援室の発展・充実のため、鎌倉市社会福祉協議会との連携を強化していく。				
担当課長氏名:		福祉政策課長 山本 賢次			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 無
	地域福祉支援室を発展・充実させることにより地域福祉を推進していく。				
担当部名	健康福祉部	部長名	石井 和子		